

第42期定時株主総会 参考資料

1. 経営指標等の推移	P 2
2. 売上高推移	P 3
3. 第42期 セグメント別売上高の状況	P 4
4. 業績等の推移	P 5
5. 貸借対照表(2013年3月31日現在)	P 7
6. 損益計算書(自 2012年4月1日 至 2013年3月31日)	P 9
7. WEB・製品紹介	P 11
NIC Direct(WEBサイト エヌアイシ ダイレクト)	
新商品【安全柵 AG series】	
事業案内資料	
8. 事業拠点	P 15



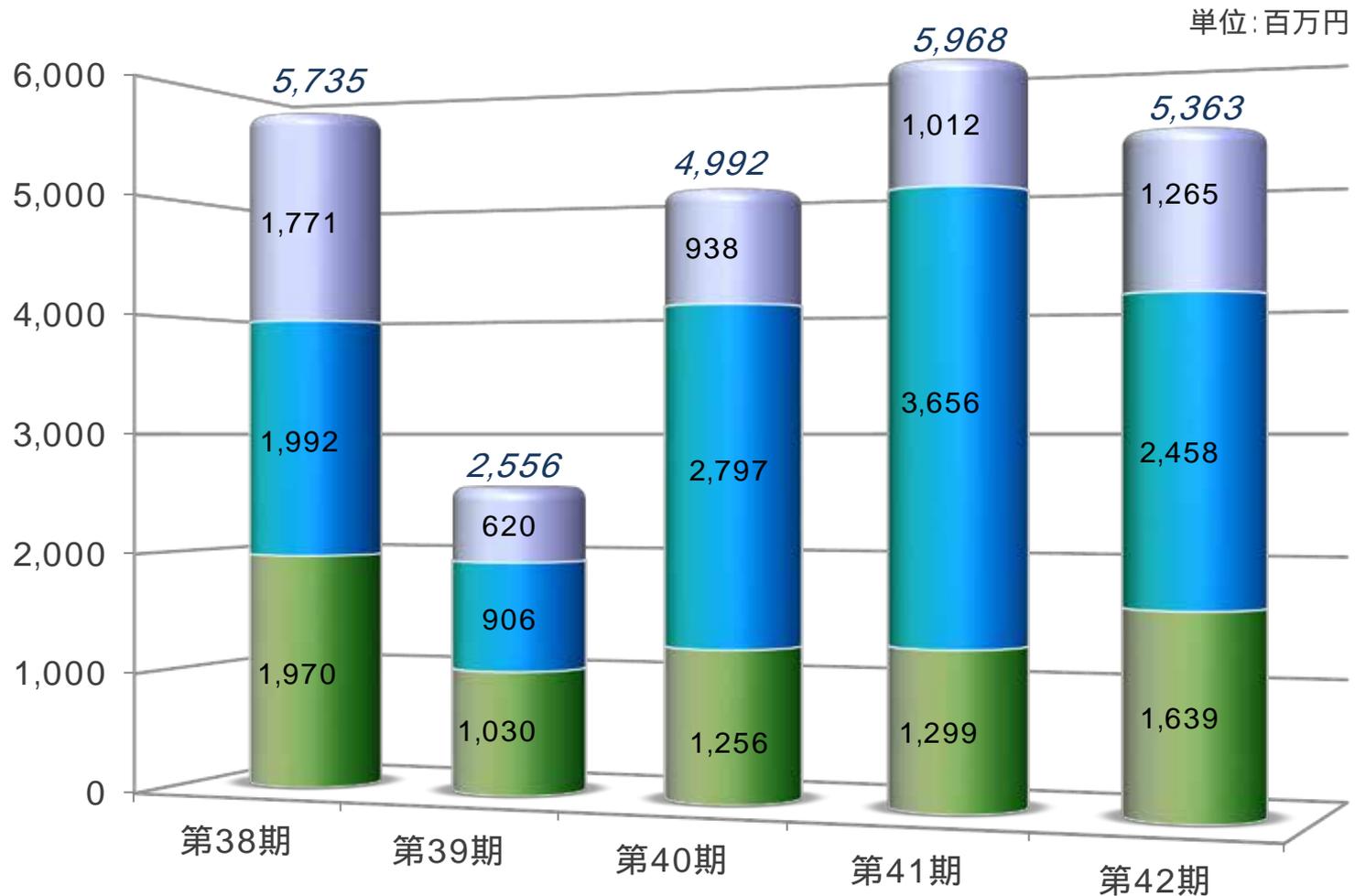
1. 経営指標等の推移

回 次		第38期	第39期	第40期	第41期	第42期
決 算 年 月		2009年3月	2010年3月	2011年3月	2012年3月	2013年3月
売 上 高	(千円)	5,735,657	2,556,589	4,992,882	5,968,462	5,363,510
経 常 利 益	(千円)	265,456	150,895	94,065	274,775	200,352
当 期 純 利 益	(千円)	164,394	74,007	46,958	152,861	120,566
持分法を適用した場合の投資利益	(千円)					
資 本 金	(千円)	156,100	156,100	156,100	156,100	156,100
発 行 済 株 式 総 数	(株)	55,000	55,000	55,000	55,000	55,000
純 資 産 額	(千円)	2,938,177	2,843,160	2,886,368	3,002,912	3,041,855
総 資 産 額	(千円)	3,973,451	3,535,054	5,495,341	4,976,456	5,242,130
1 株 当 た り 純 資 産 額	(円)	539.22	521.78	529.71	551.10	558.25
1株当たり配当額(内、1株当たり中間配当額)	(円)	1,000(-)	700(-)	800(-)	1,200(-)	900(-)
1 株 当 た り 当 期 純 利 益	(円)	30.17	13.58	8.61	28.05	22.12
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	(円)					
自 己 資 本 比 率	(%)	73.9	80.4	52.5	60.3	58.0
自 己 資 本 利 益 率	(%)	5.7	2.6	1.6	5.2	4.0
株 価 収 益 率	(%)	6.2		21.8	12.0	12.5
配 当 性 向	(%)	33.1		92.8	42.8	40.7
営 業 活 動 に よ る キャ ッ シ ュ ・ フ ロ ー	(千円)	492,964	234,777	190,088	875,657	253,458
投 資 活 動 に よ る キャ ッ シ ュ ・ フ ロ ー	(千円)	46,062	39,679	60,679	57,805	67,867
財 務 活 動 に よ る キャ ッ シ ュ ・ フ ロ ー	(千円)	74,220	54,241	37,933	43,419	65,078
現 金 及 び 現 金 同 等 物 の 期 末 残 高	(千円)	432,730	573,586	284,885	1,059,305	672,900
従 業 員 数 (外 、 平 均 臨 時 雇 用 者 数)	(名)	149(23)	137(8)	140(15)	141(17)	151(14)

- (注) 1. 当社は連結財務諸表を作成しておりませんので、連結会計年度に係る主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
 2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
 3. 持分法を適用した場合の投資利益につきましては、関連会社がないため記載を省略しております。
 4. 2013年4月1日付で普通株式1株につき普通株式100株の割合で株式分割を行っております。第38期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり純資産額及び1株当たり当期純利益を算定しております。
 5. 第41期の1株当たり配当額1,200円には、創業85周年記念配当300円を含んでおります。
 6. 第38期及び第40期から第42期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益につきましては、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
 7. 第39期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益につきましては、1株当たり当期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
 8. 従業員数欄の(外書)は、臨時従業員の年間平均雇用人員(1日8時間換算)であります。

2. 売上高推移

■ 商事部門 ■ 装置部門 ■ アルファフレーム部門

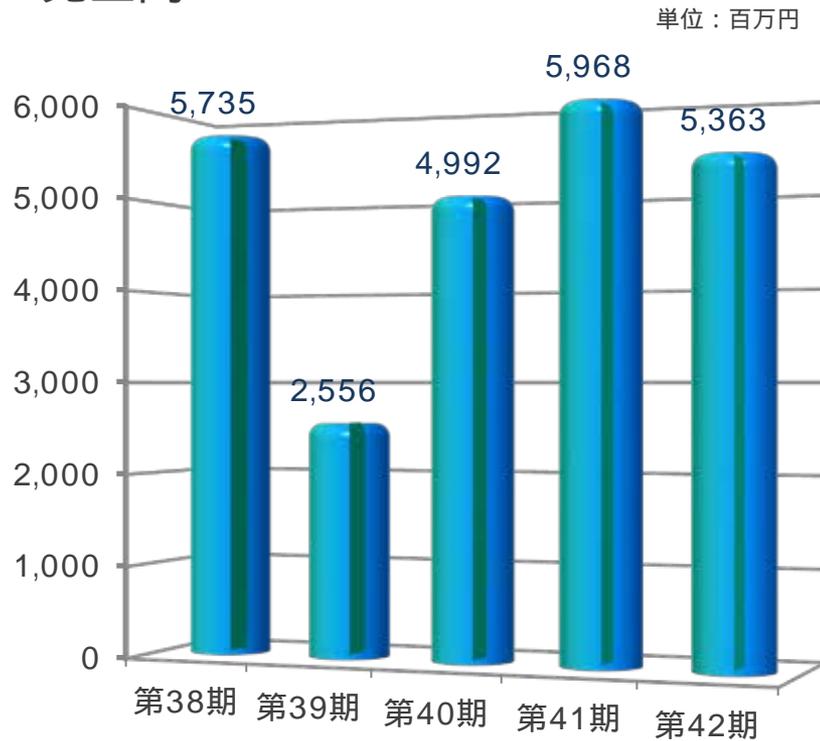


3. 第42期 セグメント別売上高の状況

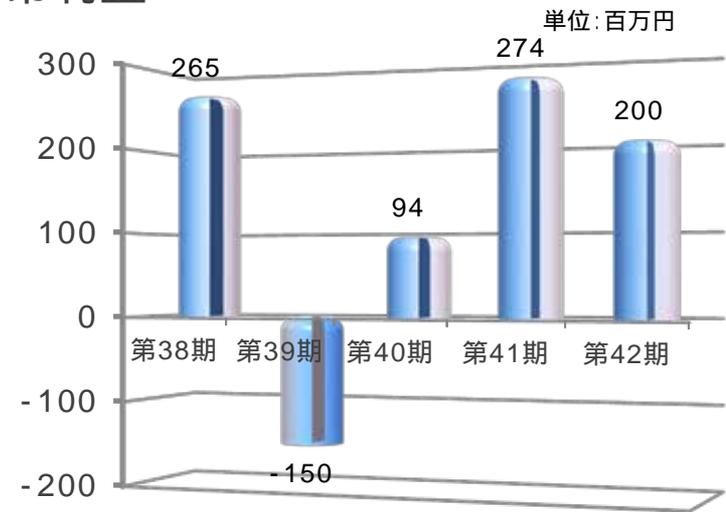
アルファ フレーム部門	<p>アルファフレーム部門におきましては、アルファフレームシステムの拡販ツールである「カクチャ™」及び「マーキングシステム™」を活用し、アルミニウム製構造材の付加価値を高めることで、競合他社と差別化を図った提案営業を継続的に展開いたしました。</p> <p>その結果、当社がこのような高付加価値販売に注力してきたお客様からの引合いが増加し、当部門の売上高は伸長いたしました。</p> <p>また、平成24年4月に法人のみならず個人のお客様でも購入が容易なインターネット販売サイト(名称: NIC Direct)を立ち上げ、様々なお客様から引合いをいただいております。</p> <p>この結果、当部門の売上高は1,639百万円(前期比26.2%増)となりました。</p>
装置部門	<p>装置部門におきましては、当社の技術力を活かした質の高いFA装置の提案活動を推進いたしました。その結果、海外拠点での生産強化を図る自動車部品製造関連企業向けのFA装置等の売上高が堅調に推移いたしました。特に、継続的な受注を確保してきた自動車部品向け洗浄装置は、当部門の一つの柱に成長しました。しかしながら、FPD業界の不振から、クリーンブース等の構造物の売上高は低調な結果となりました。</p> <p>また、前事業年度には大型機械設備案件の売上高が伸長しましたが、当事業年度では当該設備案件の規模縮小等により、売上高は前事業年度を下回りました。</p> <p>この結果、当部門の売上高は2,458百万円(前期比32.8%減)となりました。</p>
商事部門	<p>商事部門におきましては、工業用砥石、油脂類、工具・ツール等の消耗品の売上高が、当事業年度の下半期では伸び悩む状況となりました。しかしながら、機械部品、自動車部品製造関連企業より、生産機械設備の受注を継続的に確保したことによって売上高は伸長いたしました。</p> <p>この結果、当部門の売上高は1,265百万円(前期比24.9%増)となりました。</p>

4 . 業績等の推移

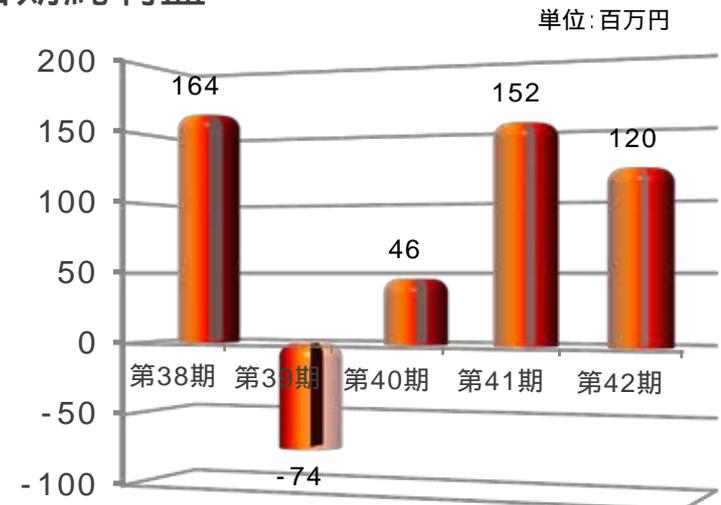
売上高



経常利益

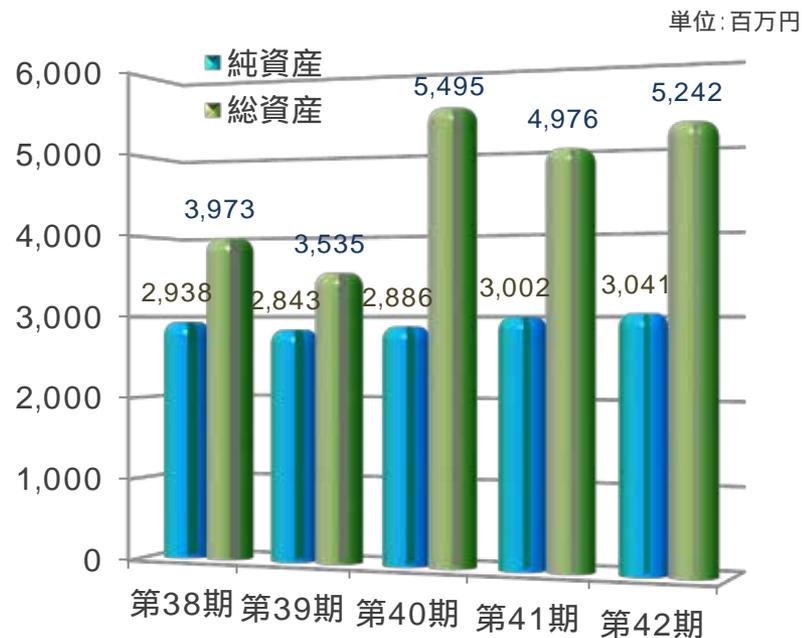


当期純利益

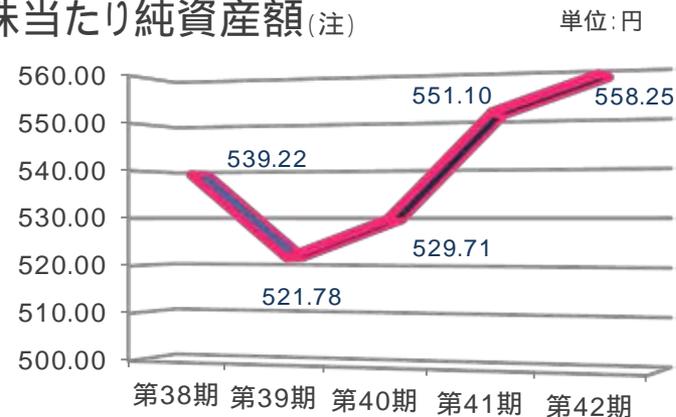


業績等の推移

純資産額 / 総資産額



1株当たり純資産額(注)



1株当たり当期純利益(注)



財政状態の分析

当事業年度末の総資産は、前事業年度末と比べ265百万円増加し、5,242百万円となり、負債合計は、前事業年度末と比べ226百万円増加し、2,200百万円となりました。正味運転資本(流動資産から流動負債を控除した金額)は1,546百万円であり、流動比率は176.7%であります。

なお、当事業年度末の純資産合計は、前事業年度末と比べ38百万円増加し、3,041百万円となりました。自己資本比率は58.0%となっております。

(注)平成25年4月1日付で普通株式1株につき普通株式100株の割合で株式分割を行っております。第38期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり純資産額及び1株当たり当期純利益を算定しております。

5. 貸借対照表

(2013年3月31日現在)

(単位:千円)

科 目		金 額	科 目		金 額
資 産 の 部			負 債 の 部		
流動資産		3,561,623	流動負債		2,015,072
現金及び預金		672,900	支払手形		944,155
受取手形		590,107	買掛金		916,974
売掛金		1,698,389	リース債務		14,691
商品及び製品		141,666	未払金		43,499
仕掛品		147,161	未払法人税等		14,002
原材料及び貯蔵品		249,296	未払費用		24,489
前払費用		3,289	預り金		11,414
繰延税金資産		40,860	製品保証引当金		2,839
その他の引当金		18,174	賞与引当金		42,894
貸倒引当金		221	その他		112
固定資産		1,680,507	固定負債		185,202
有形固定資産		1,157,278	リース債務		42,106
建物		527,630	退職給付引当金		141,632
構築物		6,240	資産除去債務		1,463
機械及び装置		39,439			
車両運搬具		402	負債合計		2,200,274
工具器具及び備品		72,171			
土地		456,904	純資産の部		
リース資産		54,489	株主資本		2,993,199
無形固定資産		10,828	資本金		156,100
ソフトウェア		8,881	資本剰余金		146,100
その他		1,947	資本準備金		146,100
投資その他の資産		512,400	利益剰余金		2,725,410
投資有価証券		184,474	利益準備金		8,750
出資		3,370	その他利益剰余金		2,716,660
繰延税金資産		24,169	別途積立金		1,430,000
保険積立金		282,468	繰越利益剰余金		1,286,660
会員の権利		1,800	自己株式		34,410
その他の他		17,768	評価・換算差額等		48,656
貸倒引当金		1,650	その他有価証券評価差額金		48,656
資産合計		5,242,130	純資産合計		3,041,855
			負債及び純資産合計		5,242,130

貸借対照表

(2013年3月31日現在)

流動資産	当事業年度末における流動資産の残高は、前事業年度末と比べ287百万円増加し、3,561百万円となりました。これは主に、当第4四半期に集中した機械設備案件の売上により、売掛金が676百万円増加した一方で、現金及び預金が390百万円減少したことなどによります。
固定資産	当事業年度末における固定資産の残高は、前事業年度末と比べ21百万円減少し、1,680百万円となりました。これは主に、有形固定資産及び無形固定資産の減価償却による減少82百万円があった一方で、有形固定資産及び無形固定資産の取得による増加43百万円、及び保険積立金の増加23百万円があったことなどによります。
流動負債	当事業年度末における流動負債の残高は、前事業年度末と比べ233百万円増加し、2,015百万円となりました。これは主に、当第4四半期に集中した機械設備案件売上の仕入増加により、買掛金が578百万円増加した一方で支払手形が150百万円減少したこと、また、未払法人税等が98百万円、未払消費税等が61百万円、それぞれ減少したことなどによります。
固定負債	当事業年度末における固定負債の残高は、前事業年度末と比べ6百万円減少し、185百万円となりました。これは主に、リース債務が15百万円減少した一方で、退職給付引当金が8百万円増加したことなどによります。
純資産	当事業年度末における純資産は、前事業年度末と比べ38百万円増加し、3,041百万円となりました。これは主に、当期純利益の計上等により利益剰余金が55百万円増加したこと、保有株式の時価下落に伴い、その他有価証券評価差額金が16百万円減少したことによります。

6. 損益計算書

(自 2012年4月1日 至 2013年3月31日)



エヌアイシ・オートテック株式会社

(単位:千円)

科 目	金 額	
売 上 高		5,363,510
売 上 原 価		4,338,646
売 上 総 利 益		1,024,864
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		831,908
営 業 利 益		192,955
営 業 外 収 益		
受 取 利 息	210	
受 取 配 当 金	3,500	
仕 入 割 引	2,288	
そ の 他	1,442	7,441
営 業 外 費 用		
売 上 割 引	44	44
経 常 利 益		200,352
税 引 前 当 期 純 利 益		200,352
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	73,141	
法 人 税 等 調 整 額	6,644	79,786
当 期 純 利 益		120,566

損益計算書

(自 2012年4月1日 至 2013年3月31日)

売上高	<p>アルファフレーム部門におきましては、アルファフレームシステムの拡販ツールである「カクチャ™」及び「マーキングシステム™」を活用し、アルミニウム製構造材の付加価値を高めることで、競合他社と差別化を図った提案営業を継続的に展開いたしました。その結果、当社がこのような高付加価値販売に注力してきた顧客からの引合いが増加し、当部門の売上高は伸長いたしました。</p> <p>装置部門においては、海外拠点での生産強化を図る自動車部品製造関連企業向けの洗浄装置を中心としたFA装置等の売上高が堅調に推移いたしました。しかし、前事業年度にあった大型機械設備案件の売上高が当事業年度では規模縮小となったため、売上高は前事業年度を下回りました。</p> <p>商事部門においては、工業用砥石、油脂類、工具・ツール等の消耗品の売上高が伸び悩む状況となったものの、機械部品、自動車部品製造関連企業より、生産機械設備の受注を継続的に確保したことによって売上高は伸長いたしました。</p> <p>これらの結果、売上高は5,363百万円(前期比10.1%減)となりました。</p>
売上総利益	<p>当事業年度は、装置部門における大型機械設備案件の売上高の減少により、製造コスト削減を推進したものの、売上総利益は1,024百万円(前期比9.3%減)となりました。</p>
販売費及び一般管理費	<p>販売費及び一般管理費につきましては、継続的にコスト削減の徹底を行いつつ、効果的な販促活動を推進した結果、831百万円(前期比3.5%減)となりました。</p>
営業利益 経常利益 当期純利益	<p>当事業年度の業績は、装置部門における大型機械設備案件の売上高の減少により、営業利益が192百万円(前期比28.1%減)、経常利益が200百万円(前期比27.1%減)、当期純利益が120百万円(前期比21.1%減)となりました。</p>

2012年4月 メーカー直販WEBサイト

エヌアイシ・オートテック 直販サイト

NIC Direct エヌアイシ・オートテック株式会社

| 会員登録 | ご利用ガイド | ご購入の流れ | お問い合わせ

カテゴリから選ぶ 検索

ネット価格、品質、品揃え、安心感など
メーカー直販サイトのメリットを最大限にいかしたサービスをご用意します！

NIC Direct —エヌアイシ ダイレクト—

新着情報

2012/4/19
ゴールドメンバーの皆さまのご案内

2012/4/2
NIC Direct オープンしました！

[新着一覧](#)

ALFA FRAME SYSTEM

- パーシッパフレーム**
- H10 高剛性シリーズ**
- ブラケット**
- アクセサリ**
- ブラケットフレーム**
- スペシャルフレーム**
- セーフティシリーズ**
- ボルトナット**
- レールフレーム**
- アルファコンベア**

アルファフレームの深い方
アルファフレームの基本的な使用方法をお知らせいたします。お問い合わせは、こちらをご覧ください。

検索方法、取付方法

カタログ
製品名や型式などを検索

デジタルブック

PDFカタログ

カタログ請求

設計・輸送リポートサービス (SKETCH)

CADダウンロード

※メールでお問い合わせいただく場合でも、
電話でご連絡が出来る場合があります。
お気軽にメールください。

▲ページトップに戻る

エヌアイシ・オートテック株式会社

| 会員登録 | ご利用ガイド | ご購入の流れ | お問い合わせ

で型式を探す

ホーム > **パーシッパフレーム**

▼



AFS-1500-6



AFS-15120-6



AFS-15100-6



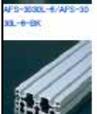
AFS-3020L-6



AFS-3020F-6



AFS-3060-6



AFS-3090-6



AFS-30120-6



AFS-4060-6

▲ページトップに戻る

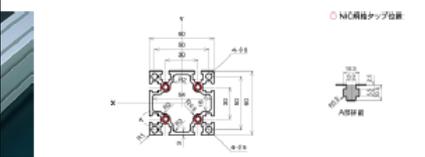
エヌアイシ・オートテック株式会社

| 会員登録 | ご利用ガイド | ご購入の流れ | お問い合わせ

検索

ホーム > **パーシッパフレーム**

▼



NIC規格スタンプ位置

8000mm
15~4000mm
±0.3mm(±2σ)
A8035~T3205
アルマイト処理(平均5μm以上)クリア電着塗装*
225N/mm ²
1033mm ²
2.825kg/m
lx 44.3 × 10 ⁴ mm ⁴
ly 44.3 × 10 ⁴ mm ⁴
ECP-6090-6/ECP-6090-6-GY

*耐腐蝕電着塗装(塩化物水環境なし)JIS H4002:2010準拠

下記からご希望の型式を選択してください

は、片側面スタンプ加工を要します。

は、両側面スタンプ加工を要します。

※上記金額は消費税の計算上、カート内の金額と異なる場合があります。正式な金額は「カート内」をご確認ください。

▲ページトップに戻る

URL <http://www.nic-direct.jp/>

※商品が15mm~400mmの範囲で入力してください

※商品が小さすぎると送料が別途発生します

AFS-6060-6
1000mm 1ヶ

金額(税込) ¥3,071

※上記金額は消費税の計算上、カート内の金額と異なる場合があります。正式な金額は「カート内」をご確認ください。

▲ページトップに戻る

新たに安全柵をシリーズ化 AG series



AG series
POINT
5つの特長

5

① 簡単なモジュラー式で楽々組立て

標準品の安全柵と接続ブラケットをつなぎ合わせるだけで、スピーディ且つ安全に設置をする事が出来ます。安全柵は、固定タイプ、扉開き戸タイプ、扉吊り戸タイプのご用意があります。



② 安全柵専用のアルミフレーム

軽量且つ剛性にも優れた安全柵専用のアルミフレームを採用しております。アルミフレームの表面は、アルマイト処理層に加えてアクリルクリア塗装が施されており、防錆や美観に優れています。



③ アルファフレームとの互換性

安全柵のアルミフレームは、当社アルファフレームM6シリーズとの互換性が有ります。安全柵にアルファフレームを接続する事で、ご用途に応じた様々な形状のものをお作り頂く事も可能です。



④ パネルバリエーションが豊富

溶接金網に加えて、PET、ポリカーボネイト、塩ビの透明樹脂パネルも標準ラインナップに加えました。溶接金網は線径φ3.2mm、ピッチ 50mm、黒色焼付け塗装品です。樹脂パネルは、板厚 3mm、5mmの2種類に対応しております。



⑤ 標準品以外の特殊対応も可能

固定タイプの扉変更、扉タイプの黄色塗装対応、標準品以外の各種パネルの対応等を承っております。特殊対応品は、型式のご指定にて簡単にお問い合わせを頂けます。



高品質な安全柵専用のアルミフレームを採用。美観・環境面に優れた高機能製品です。

AG series

数々の分野で部材単品から装置設計製作、ラインレイアウトまで

生産ラインのトータルコーディネーター

アルファフレーム・装置・商事の
三部門が生む総合力

1. 素材供給 → 2. 加工 → 3. 油回収 → 4. 搬送 → 5. 洗浄 → 6. 検査 → 7. 整列

省力化



パーツフィーダーやロボット、
コンベアを使用した供給装置

総合力



工作機械のレイアウト
エンジニアリング
砥石、切削工具、油類等の測定

エコ



加工機のクーラントは次工程へ
持ち出さない

マテハン



各工程をつなぐ、コンベア、リフター、
パッパ装置等

洗浄で品質アップ



インライン
洗浄機

小型標準洗浄機
CSA-200

検査で不良流出STOP



打痕なく箱詰め



1. 部品供給

自動供給



2. 組立

パレット搬送コンベア



3. 包装

製函、箱詰め自動化



4. 出荷

アルミ簡易クレーン



アルファレールシステムは
株式会社 普通テクノの製品です



フレームを知り尽くした最適設計



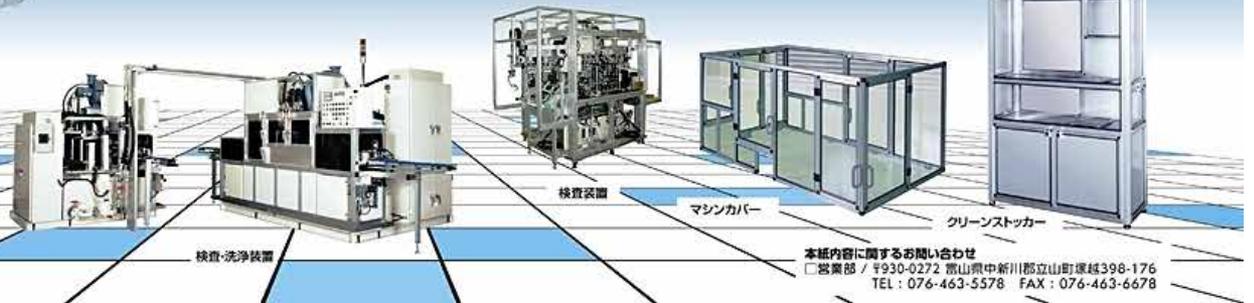
ALFA FRAME SYSTEM

20年を超える実績
日本でのアルミ構造材のハイオン

アルファフレームの特長
1. 簡単に組み立てられる
2. 高強度で耐震性に優れる
3. 高剛性で変位を抑制する
4. 高耐食性で長寿命
5. 幅広い分野に対応

2200種類を超えるアルミフレーム製品

産業用アルミフレームで業界をリードする アルファフレームシステム



検査・洗浄装置

検査装置

マシンカバー

クリーンロッカー

エヌアイシ・オートテック株式会社

本紙内容に関するお問い合わせ

営業部 / 〒930-0272 富山県中新川郡立山町環越398-176
TEL: 076-463-5578 FAX: 076-463-6678

アルファフレームシステムでトータルコストダウン

ALFA FRAME SYSTEM
http://www.nic-inc.co.jp/

幅広い分野に適用する豊富な製品ラインナップ

アルファフレーム



ブラケット



アクセサリ



マシンカバー



専用3D-CADによる設計サービス



安全柵AGシリーズ



標準コンベアシリーズ



ALFA CLEAN BOOTH



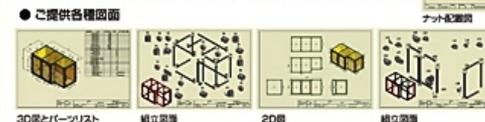
アルミクリーンブース
半導体・液晶・電子部品・製薬・食品・精密機械分野まで多くの実績

クーラント回収装置



自動設計CADサービス

当社独自の自動設計CADシステムにより、簡単な仕様をいただいでスピーディーに図面をご提供



世界初、取付位置を教えるマーキングシステム™で作業時間がぐんと短縮

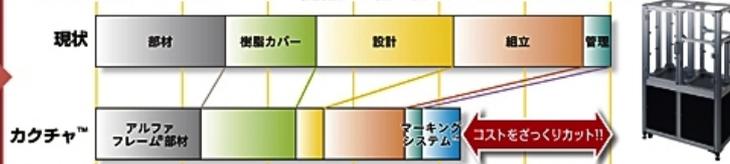
- ① ナット(NGM-Q4-4)をラインに合わせて挿入
- ② ブラケット(ABLD-20-4)を精細面に合わせて取付
- ③ 部品番号(1A)が一文字のフレームを配置
- ④ 向き方向(A, B, C)に合わせて取付

マーキングはアルコールで消去可能

ご依頼から納入までのサービスの流れ



コストカットイメージ



カクチャ™にしたら...

事業拠点

富山本社
〒930-0034
富山県
富山市清水元町7-8
☎ 076-425-0738



立山工場
〒930-0272
富山県
中新川郡
立山町塚越398-176



流杉工場
〒939-8032
富山県富山市流杉255
☎ 076-422-2578



東京本社
〒135-0063
東京都
江東区有明3-7-26
有明フロンティアビルB棟11階
☎ 03-5530-8060



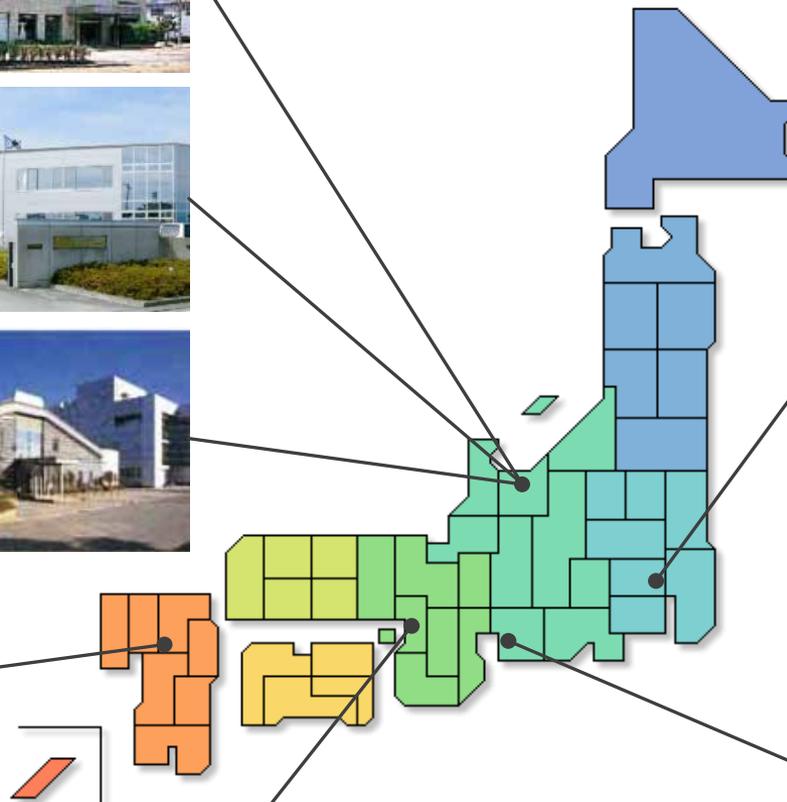
アルファフレーム九州
〒837-0907
福岡県
大牟田市四箇新町1-2
☎ 0944-41-7707



アルファフレーム関西
〒578-0965
大阪府
東大阪市本庄西2-4-29
☎ 06-6747-2212



アルファフレーム東海
〒448-0801
愛知県
刈谷市板倉町1-6-6-102
☎ 0566-45-6802



本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績予想並びに記載された内容は、本資料作成日現在において一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。

本資料に対するお問合せは、以下の管理グループにてお願い申し上げます。

< エヌアイシ・オートテック株式会社 管理部管理グループ >

TEL: 076-425-0738 FAX: 076-422-2712

Mail: ir@nic-inc.co.jp URL: <http://www.nic-inc.co.jp/>



エヌアイシ・オートテック株式会社

東京本社	/ 〒135-0063	東京都江東区有明3-7-26有明フロンティアビルB棟	TEL: 03-5530-8066
富山本社	/ 〒930-0034	富山県富山市清水元町7-8	TEL: 076-425-0738
流杉工場	/ 〒939-8032	富山県富山市流杉255	TEL: 076-422-2578
立山工場	/ 〒930-0272	富山県中新川郡立山町塚越398-176	TEL: 076-463-5578
アルファレーム東海	/ 〒448-0801	愛知県刈谷市板倉町1-6-6-102	TEL: 0566-45-6802
アルファレーム関西	/ 〒578-0965	大阪府東大阪市本庄西2-4-29	TEL: 06-6747-2212
アルファレーム九州	/ 〒837-0907	福岡県大牟田市四箇新町1-2	TEL: 0944-41-7707

ご注意 著作権 © 2010 NIC AUTOTEC, INC.

WARNING: All Rights Reserved. Unauthorized duplication is a violation of applicable laws.

本資料を権利者の許諾なく無断複製、改変、頒布、翻訳などに使用することは、著作権上、禁じられています。

産業財産権 2010 NIC AUTOTEC, INC., ALFA CLEAN BOOTH & SYSTEM,

ALFA FRAME SYSTEMの主要な構成部品は特許、実用新案、意匠権など産業財産権により保護されております。